

Information

平成29年度夏季特別展 「伊能嘉矩と台湾研究」

国立台湾大学が所蔵する伊能の貴重な研究資料を見ることができます。詳細は、本誌7月号綴じ込みチラシをご覧ください。

- 会期 第1期…9月24日(日)まで 第2期…10月1日(日)～11月23日(木) ※国立台湾大学からの借用資料の展示は第1期のみ。第2期は伊能家寄託資料を中心に展示を行います。
- 会場 市立博物館企画展示室
- 問い合わせ 市立博物館(☎62-2340)

(一財)遠野市教育文化振興財団合併5周年記念事業
生涯学習講座

「伊能嘉矩と甘棠の愛」

伊能が120年前に踏査したルートを9日間かけて取材し、ドキュメンタリー番組を制作した工藤哲人氏(岩手めんこいテレビプロデューサー)が、現地の現在の様子や番組制作秘話を紹介します。

- 日時 9月23日(土)、13時半～15時
- 場所 市立図書館視聴覚ホール
- 受講料 無料
- 申込方法 9月20日(水)までに電話申込
- 申し込み・問い合わせ

(一財)遠野市教育文化振興財団(☎62-6191)

世紀の大修理を、ぜひあなたの目で！ 重要文化財「千葉家住宅」 保存修理工事見学会

平成28年度から本格スタートした千葉家住宅の大修理工事の、一般向け見学会を初開催します。曲り家の解体途中の様子や、解体した附属屋の跡地の発掘調査成果などを見ることができます。

- 日時 9月30日(土)・10月1日(日)、10時～15時30分 ※所要時間約1時間。1日に9回実施。各回定員20人
- 集合場所 綾織小学校旧グラウンド臨時駐車場
- 参加条件 小学生以上(小学生は保護者同伴)。足腰に自信のある方
- 申込方法 ▷希望日と希望回(①10時②10時半③11時④11時半⑤13時⑥13時半⑦14時⑧15時⑨15時半—のいずれか)▷氏名▷住所▷電話番号▷人数—を、電話、FAX、Eメールにてお伝えください。
- 申込締切 9月22日(金) ※定員になり次第締め切り
- 申し込み・問い合わせ

市文化課(☎62-2340、ファクス:62-5758、Eメール:bunka@city.tono.iwate.jp)



1_伊能の功績について力説する台湾・国史館の呉館長 2_有識者によるシンポジウム。伊能の功績を掘り下げました 3_今回の遠野文化賞は遠野昔話語り部の会が受賞。菊池玉会長は、今後の抱負を力強く述べました

表彰者・認定者を紹介 ※敬称略

- 遠野文化賞▶遠野昔話語り部の会
- 佐々木喜善賞▶小説イラスト「長者屋敷の寝られぬ座敷」(小説:都築隆広(山梨県)、原案・イラスト:十風高志(長野県))
- 佳作▶随筆「飢餓の記憶 遠野物語遠景」(辻村博夫、奥州市)、映像「遠野 馬好き物語」(立花紘、土淵町)
- 遠野遺産▶認定番号第150号「山谷獅子踊り」(小友町、無形遺産、小友町地域づくり連絡協議会推薦)
- 遠野こだわりの語り部▶綾織・小友・附馬牛・土淵小の児童計37人、一般4人

呉館長は「伊能先生が約半年かけて全島をくまなく調査し、体系化した台湾原住民に関する研究は、台湾人のルーツを探る上で大変貴重な存在。その功績なくして、台湾人類学を語ることはできない」と強調しました。

その後、呉館長と赤坂憲雄遠野文化研究センター所長、三浦佑之同顧問、山田仁史東北大学准教授が「日本と台湾の神話・伝説・昔話をテーマに議論を展開。両国の文化的差異を探りながら、伊能の功

績について掘り下げました。このほか、遠野の歴史や文化を題材にした研究や活動を展開した人に贈られる、遠野文化賞と佐々木喜善賞の表彰式を実施。さらに、遠野遺産と遠野こだわりの語り部の認定証交付式、遠野遺産活用事例報告も行われました。

21日は、順益台湾原住民博物館が制作した資料映像の上映会と、伊能の研究で、翻訳家の邱淑珍氏を交えてのトークライブなどが行われました。

国立台湾大学図書館と 文化交流協定を締結

写真：固い握手を交わす国立台湾大学図書館の陳館長(右)と本田市長



遠野文化フォーラム・ダイジェスト 伊能嘉矩生誕150年 —郷土研究と台湾研究の生涯をめぐって—

遠野出身の人類学者・伊能嘉矩の生誕150年を迎えた今年は、本市と国立台湾大学図書館の文化交流協定の締結を記念し、伊能研究の第一人者・呉密察氏(台湾・国史館長)が記念講演しました。

伊能の縁を絆に 文化交流協定を締結

遠野文化フォーラム「伊能嘉矩生誕150年—郷土研究と台湾研究の生涯をめぐって—」遠野文化研究センター主催は、8月20・21の両日、あえりあ遠野で開催されました。伊能嘉矩(1867～1925年)は、遠野出身の人類学者。明治時代に、日本統治下にあった台湾で、約10年にわたり台湾原住民の調査研究を行い、その集大成である台湾研究の大著「台湾文化志」は国際的に高い評価を受けています。今回の文化フォーラムでは、その功績を再評価しました。

20日は、フォーラムに先立ち、伊能が収集した学術資料を数多く所蔵する、国立台湾大学図書館と本市の文化交流

台湾・国史館長が 伊能の功績を語る

協定書締結式を開催。協定内容は、伊能に関して▽職員や研究者の交流▽講演会やシンポジウムの実施▽情報や資料の交換—などを行うものです。陳光華館長と本田市長は署名を取り交わし、末永い交流を約束しました。本田市長は「伊能先生の縁を太い絆に変え、遠野と台湾の新たな交流を育んでいきたい」とあいさつ。陳館長は「台湾人類学の先駆者・伊能先生の古里である遠野との交流は、台湾にとって有意義なものとなる」と期待しました。

協定締結を記念し、伊能研究の第一人者で、台湾・国史館の呉密察館長が講演。

